

## 町内児童と市浦小児童が相互訪問する 「友好町村交流事業」

平成28年度の友好市町村小学校交流事業は、6月16日、17日に町内小学5年生34名が青森県五所川原市市浦地区（旧市浦村）を訪問、また9月1日、2日には市浦小の5年生12名が上ノ国町に来町し交流を深めました。

### ▼町内児童の市浦への訪問

市浦小学校を訪問した上ノ国の児童は、同校の児童から温かい出迎えを受けたほか、市浦地区の伝統行事や五月女<sup>そとめやち</sup>泡遺跡についての説明を真剣に聞いていました。

その後には実施した絵馬作り体験では、お互いに協力しあいながら無事に作り上げ、楽しい時間を過ごしていました。

翌日には、十三湖で市浦地区のシジミ貝の採取体験を行い、帰町しました。

### ▼市浦小児童の受け入れ

来町した市浦小児童は、始めに勝山館跡や勝山館跡ガイダンス施設などを見学し、相互の歴史的なつながりを学びました。

その後、上ノ国小学校を訪れ、上ノ国の児童と三か月ぶりの再会を果たすとお互いに笑顔で喜び合い、パークゴルフを通じて更に交流を深めました。

翌日は、栽培漁業総合センターを見学し、帰路につきました。



このあと十三湖でシジミ採りだ！



皆で交流会とても盛り上がりました！



**中** 高生219人は、9月7日にジョイ・じょぐらで演劇「花咲き山」を鑑賞しました。

この劇は斉藤隆介作の童話を元にしており、人のために生きる強さや本当の優しさを伝える大切さを訴える内容です。

迫力ある音響と巧みな演出で物語が展開されますと、生徒はそのスケール感に圧倒されていたようです。また、上ノ国高校の生徒1名も出演し、団員に負けないうらい熱のこもった演技を披露していました。

生徒の一人は、「優しさやずるさが現れていて、まるで自分たちの内面の裏表を表すような劇だと思いました。役者さんの演技もすばらしく、ホールいっぱいに広がる声でとても聞きやすかったです。こういう機会があればまた見に行きたいです。」と感想を話していました。

## 町内の児童生徒、演劇に触れる 「芸術鑑賞事業」

町内の小中高生に、演劇などの芸術を体感してもらうとそれそれ鑑賞事業を実施しました。



**小** 学生186人は、8月25日に上ノ国小学校体育館で演劇「モンゴルの白い馬」を鑑賞しました。

この話は、モンゴルや内モンゴル自治区で暮らす遊牧民の伝統楽器「馬頭琴<sup>ばとうきん</sup>（モリンホール）」にまつわる物語を舞台にしたものです。

体育館のフロアに舞台が設けられたことで席までの距離はとても近く、躍動感あふれる演技により物語が進められますと、児童は食い入るように見入っていました。

また終了後には、劇に使用した小道具に触れる機会があった児童もいたそうで、演劇をより身近に感じていたようです。

児童の一人は、絵本などを通じてこの物語を知っていたようで、「劇として見ることができ、うれしかった」と少し興奮気味に話していました。